帝國、翼察、南京の 二巴戦が展開か

構奏もいかめしく、

変る統領物や

のへの運転も

高級系リあか取りホドデン本舗の

断されるは定

しい養服を続けてある

部長更迭す

本部第二部長渡

鼠ですから従来の揮發油やペンヂンなど 近代化學の研究に基いた冷るかとり専門 **参謀本部第二**

宋の獨立行動で

漢目の日

本租界

作法を建し、前して各自年業に

本館。與東

(i)

8

カ
て

打選中華 (東亜 中和原催に対す土 中和原催に発酵

情勢進展につれ 態度を明瞭に

如何なる機會をものぶさないつ如何なる機會をものぶさないつするに貢献し得る機會があればを注視してゐるが、平和を機保アメリカ政府は毎日東源の推移

獨逸は我國に好意的

【上海二十一日赤星特派員發】中央政治會議が二十一日の常例會議に於いて和、上海二十一日赤星特派員發】中央政治會議が二十一日の常例會議に於いて和、東京政治會議が一十一日赤星特派員發

支那中央政治會議で决定

現地協定成立の報告

軍事委員會に到着

勮 雅晴

> 学系リ、ネクタイ、帽子の脂シミなどにお ず、よい衝りがするのでとても評判です と遠ひすばらしくよく落ちて生地を傷め

久維

第5するにあり 関因が厭平以て各自その本分を なを安心し奉るの道、先づ第一 異し、聖上時下の御修亦、政

支那在住半島民が

義勇軍の組織を决意

更に慰問金の募集に大活動を開始

○○ミィ 藤井本社特派員

としの、東洋平和を招來す、次に一日も早く支那を反省権

一て然り

米を数を所以である。世界は日 別を致か、東西を改ひ文明

が し。 緊任日本 無い温いた語

|| 「一個では、各地における筋酸|| 外交部長との簡単距離を説明した。 深西の往意を掘ってるたと述べ、 日西参車官は北支における日支部 と所接な連絡を取り時局の推移に 以前、既に結束は出來てゐた 軍事授養職盟生る 生れ出る

其現にあらずして何ぞ 火し振りに見る明明凝整、米だ特別凝整いよくしあす召集。 愛国美族の山き、軍事振識の

图图

けよ虫 0

硬軟兩論に分れ激論

蔣介石靜觀ミ裁斷

に假らず速かに事件を解決し、既往に優み將來を祭知し國民祭性を認識して私を臨機に蔵斷し

はん できたこの 一野を撃 ばテイクホラ大使はこの際各員が大である千載一遇の秋再が来ら、はテイクホラ大使はこの際各員がず関下の存亡さたこの一野を撃 ばテイクホラ大使はこの際各員が

意す。更に至つた、に皇軍の激勵慰問のため慰問金察集等に涙ぐましき大活動を開始した【川岸部隊檢閱濟】在支半島民は皇軍の先驅として一死報國に邁進すべく義勇軍の組織を決

我兩部隊身四〇〇〇 | [廿日午世四時〇〇登藤井井派員] 贈書談

一鈴水部隊はOO日末期、新植雨艦ひの棚を飾いてOO施。明翻OOに向った

便衣斥候の攻撃を受け

直に應戦撃退

各方面上り注釈されてゐる

英大使を訪問日高參事官が

し、似重な態度を持せられたいと

後微節の組織をリードするものと

定に駅に実営元より軍事委員館に 一般を監督必要とする 背反しない殴り風地総定を聴聴し 繋撃戦が事實と中央の支記をで、「関京社二日同国」日支開停能館 一、如何なる地方路にも中央の承、関の意向をも考慮し、根本國策に「那に知れる政治局面が膨関し、

大勢は默認に傾く

使ひ下さい、きつと御端足を得られます。

Ç.

ある事意特許品です を家庭向にした信用 陸軍被服廠の御用品

リンの如り 歴史に楽まい のがり がなく且つナフタ ない事が殊に特長です

ゼロフアンに包んで一部架特許の穴がある一部にいかが出る様

セロフアンを破つて ありますから、その ま、御使用下さい。

散して不經濟です。使用なさる方があり

これが新案件許の穴

緊張裡に特別議會あす召集

各派對議會策を整ふ

た蔣介石の聲用を支援し、王陽響 罰を二十二日午前九時を期し開き 主席として上海市各界抗酸後環

蔣介石の歸京で

南京は俄然緊張

前は全国民の支持を受けて今や

頂點に達し、上海の各抗日間

上帝廿一日同盟] 園民館の織日 の日支間型につき悪談を遂げた、

では、アイン大変は今回の事態(Parking 指集で新た子の在歌引とユーゲッセン大変は今回の事態(Parking 形で開催)三時間中にはユーゲッセン氏を訴訟し殺す。安慰館にコ十二日午後四時半より、後にユーゲッセン氏を訴訟し殺す。安慰館にコ十二日午後四時半より、後にユーゲッセン氏を訴訟し殺す。 能能するや 避害と 北線河より 急速 との は之を 認む との 中合を なした

開かれざるにほく美まし

刊 八 **夏**

二十一日午後十時聖文イギリス大 | 日回監 引揚問題に敵の官民時節

時局委員會「漢口廿一

に極み、二十一日来哲元に對し大治政府長官脱汝縣氏は北支の牒覧治政府長官脱汝縣氏は北支の牒覧

宋に通電

軍族が石の整脈により類く飛艇1つたが、硬鉄南脇に分れ継載の

駐米獨大使强調

を惜しまね目希望した、ドイツ歌 イッ政府はアメリカ政府との協力

と協力すると云と態度を示したこ

米との協力を希望

れた日本軍と廿九軍との俘戦 高い版を開催、宋哲元より報一

簡足二十二日同四 宋西元は二

十一日午後級務省にハル長郎を訪っ内容については以上三番とも何事しる、ハル長郎は龍見後新聞記者職「最合サ二日同盟」サニ日夜便次の尾族部隊が我軍前職の留置尾族、に向け攻戦を加したが、我方も勝って最大使うと 動田 リッシュルン 大阪・ウェルス次郎を交へて経巣の しは過去数年間来院初のことでへ フリントンサー日同盟 フリシントンサー日同盟 フリシントンサービス 「大阪・ウェルス次郎を交へて経巣の とは過去数年間来院初のことでへ

日夜に至り軍事委職館に對し

の急時期に帯然たる有標で問題。

學國一

致を眼目に

天火祖教者教養上駆逐者もに至しるので、素素的を表にコナー目が「魔術を襲し、する」のでいまった。 現下中田は関防が重い時を表していよく、台域され、土臓を限さ戦国」至の選化。元素、関、元素内臓を支援するに成本方、の裏言と素を下ると共に、素面の大力に関うていました。 現下中田は関防が重い時を表していました。 現下中田は関防が重い時を表していました。 現下中田は関防が重い時を表していました。 東京高近していました。 東京高近していました。 東京高近日の秋を着いていました。 東京高近日の秋を着いていました。 東京高近日ではコナンない。 東京の地ではコナー日か 「東京高近日ではコナンない。 東京高近日ではコナンない。 東京高近日ではコナンは、 東京高近日ではコナンない。 東京高近日ではコナンない。 東京高近日ではコナンない。 東京高近日ではコナンない。 東京高近日ではコナンない。 東京高近日ではコナンない。 東京のはコナー日か 東京のはコナー日が、 東京のはコナー日が、 東京高近日ではコナンない。 東京高近日ではコナンない。 東京高近日ではコナンない。 東京西近日ではコナンない。 東京のはコナンない。 東京のはコナンない。 東京のはコナンない。 東京のはコナンでは、 東京のは、 東京のはコナンでは、 東京のはコナンでは、 東京のは、 東京のは

青に代献士職 二日は歴教で観女師が武大、東方、努力な支援を致り和観覚等を以て「最の理想をとるに決したので、統一二十一日寿が行を放置した」「全主を都市における抗日復動には、100mmのでは、100mmの 数を終入して、第一十一十一年では、100mmの 数を終入して、100mmの 数を終入して、100mmの 数を終入して、100mmの 100mmの 1

など準備に作扱されてある。同意

において悪草く境のされた同動は、お着側の線天保空間が到っところ。クは様子で形の原領と野地島の間、寛に全く散時気分が釈念してある場合が指すの彩を振つて居り、上海、を増し、廿一日正午成総令が行か、ここに記念けられる、軍用トラッ(は教師し、対行し、前代の主兵士と軍常部の代別が映。を观像として南京市内は御馬戛痰、寒脈との励れを開む光景がそこ。(終に向よ兵士と軍常部の後で下職の第一線に誘動した上海司法閣督、「南京市」日間盟、第六五の四京(は出動前祭の武委兵が石建方社) 昇いて三々五々中山路から揚子社

市内は戦時氣分横溢

陸海軍御用工場 本題·東京·金風商會

B-1324 盟段は推議

保土谷實證餘以製品

一敵彈の洗禮を受く

近かりが叉銃と共に休憩してゐるのが手に取近かの楊柳の横降に廿九路軍の兵士一個中隊 りない、同事が帰長の休息する阿地の役方が所謂一文字山高地であ る。北平より億カに二重率、前方億なに大百米、平満線の飲料を挟

つて節は地に乗り込んで書きたる武器を厚かしたのには、世別になれて、との場の情報にあめたが、事職は関係後日本力を批れた、登別院につんばんと戦る日は彼と歌天日日前に同いよく(第 る如く見へ、乘客は一齊に「アッ」とばかり 和味の哲様に「しまつた」と思い既能と厳重な交換を就みた結果学 に整を石んだがとれまた町の兵士に紅取されずやつと死椒 にも効を残して現る角も目的の理論的に掛めの臨時時期を認めてく を越えた駆びであった。列車は銀行列州で北平まで面通すると含み

みを音に向って出版した、

年田口部隊長麾下 の兵士の変が駆ぐとし、 線の本盤に前着した時の難しな、思はず知らず心に

ゼルを腰にした公安隊員一名の巡察が始まり

果りを求つて職権無限に関うところであったので、索ったもまも取るが、光と足と助力の観に師の京 者ジョイ・ラフクス館が属内な背医服の光君と共に外人記者の一番 萬歳を叫んだのであった。最前には東京なドレスに最 時が偲ばれ寝肚の氣が身をしめるやうである を後送した名残りのトラックでマザーくと當べる際にはトラック作品歌を置い を包んた天津内住のアメリカン・アソシエード・ニュースの婦人配 本教院研究館が置く組成されてる

埋め強し、傍らには皇軍の兵士が设置できなが僅かばかりの手術物を背負つてフォームをが僅かばかりの手術物を背負つてフォームをも過ぎませた。路場村際には支那避難民の群との辞をがしたが手に取ることである。

つくつてゐる。

やがて即切りを過ぎる明 車電

ひを走せてゐる折断。 奥如上京を昼軍の飛行機が覚え〇〇方面に 大平原を包む妖響を示意に見るながい既然に

> 府民の光や足に 鐵壁の防空布陣!

んで、世界の飛鳥を撃中した北支事殿の設定地である魔術関域が馬

を行ひ、その他光と動力も高一空一大佐と打合せ中である。 故のあつた現場に電光石火の迅速一般を受けても傾射安全な防護院験 **尽電の護りは固し** 白堊殿を護れ

ガな間ののも、余に麒麟が一般の尾上に立つた、潜観都忠の我体地「大切な京城人の足が止ちぬやらず」ることになった。北支軍党を突破「医療の恣戦を受けた異合、第一時が"関ば"れ一度出しの宗が"身"を"しめ"名 やこうで、ある。 て飛飛やパスガが発謝を受けても「と愈え本府にも肺時間が前弦され、地に肺寒脈が急促されてみるが、 ク部級かー双節の自盟殿を護れる。として在の**譲りに目髪めて全葬各** と他上本府にも印版圏が結成され、地に研修圏が危股されてあるが、 の目標とされる本府の自頭版に明

本府でも防護團結成

間式を駆けるべく関脳の説出を急 村陸軍適用機と京城防護盟の師後一行ふこと」なった、この希望者の 際野田一名を必ず器加せしめ、 **人佐を指揮者に仰いで数日中に結**

別処さり数長に各市が、一州人以上ではどうのいた。住宅を開発的ないのは戦後にと、一年前に入れている。 野郷長で勝長に各局カニ州人以上

らち京城百名、新義州、暦山谷五

第一年後一時から那個局に於て抽貨を

牙城府廳員 八月中語智な日時を定め同語的よ

め京城府職では七十萬府民の愛國は朝鮮軍司令部に小種軍司令官 半路の首都、大京城の府城の元編 ることになり、二十一日佐旧府 局射銃献納 一二ヶ月間所得を醵出

も霙嶺の半部人ありゃと眺起した。の・養野肺臓・を組む、脾寒をとり、の呼びをあげてみるときゃことに、を聞き半部人に呼びかけ一貫人位、午後一時毎里に殴つて行つたの呼びをあげてみるときゃことに、を聞き半部人に呼びかけ一貫人位、午後一時毎里に殴つて行つたら聞めて朝鮮義派軍の遅駆に突が、人方道の七十ヶ町館の総代は頭台、となだめられ緩急さらに二十一日、東日前から朝鮮。も北文の墓場だけで十分だから」

て赤心の半部人が内積となつて北 さから愛媛心を選出させることは ところでは翌四年が出動したくと

死刑を言談された

励人上関係が終に目覚めよ、そし、うして匹もれぬ献金などでは燃え、部年が馳せ終じてゐたが『月下の』等は続て遊伽劉恒長、村田樹華倫媛國教ととなつた文用琦氏は「半」人總代の謝僧を多ぐり『我々はか」の義単には既に百名の半端の愛國《公都代行史》、教人華代は京遠貧

慶北の名前四点の機械的流動でで、子の特殊がグーツと聴き入る時節。ちにと押し止めた、なほ文明項氏、谷安維作法選定、住門政人、强盗が

朝鮮側町總代が

愛國籍々となった文明琦氏は「半人総代の腓勝をゑぐり『我々はか

のを翻り東大門が出所に保護中・十名が上に佐田府野かり下は日朝・寛んで飲金して臭れた。どうか・時人の男の見が送子になつてある 人一千一百八十名、計一千四百三 とつた、佐田府野は動る「確かの日勤春しの増入さでが、 第二千四百三 とつた、佐田府野は動る

思博北 南西の風 銀つたり 南(南政乃至) 同じ

といふのであつた、南起質は窓流、対海動館上版・高計範囲観点・提から何かの場に入れて下さい」 ケ月間開出、この範囲三千町で高 を飲納し大気域の空の腰りに備へ

等めに盛したいと思ひ、十一してその所が開致を命じたいなの事といふのであつた、南絶哲にしなったのですが今後の事といふのであつた、南絶哲にしたりであった。南絶哲にしたいな中華公をして月十国を

半島の愛國獻金 七萬圓にのぼる

取取す八月分の給料から百分の一一四の飲金に勝念の方法で、今份後、図都に献金の手数きをとった。荒 公長大士の家族財職と教験のため | 情情は一千圓、大野以務制量は五 | 居さん、米屋さんの赤心こもる丘

を見て更に何等を献金の方法と誘 井氏が立去つてから関もなく意場 百風をそれた人献金した、なに今一原な財金に脱損、直ちに朝鮮軍

黃金町一座室園谷芸田町主石川町

防戦金に投げ出し、引配く巨闘の 西氏が一萬国の小切手をポンと国 とに廿一日決定した

全鮮八萬の官吏から

萬圓を獻金

軍人家族の慰問救護

○○市街を警備する皇軍

召喚し時間院職の運化を重調した。決したが、本町港ではその赤むに佐田宮城府的は内。時人町都代を一柄的に雅明軍の事兵を行ふことに

は欧洲するが東京機関まで得つや、した別域和人整理は「こにかくる」のを認定東大門が出所に保護中央したが、本町港ではその赤心に、関境で整備数四名にか一名を射数「終人の男の見が送手になってある

死刑言渡

東廟に迷子サー目を後

朝鮮人の一説がある。当る上六日って北支の第一線に出動、虚上積

解まつてあるのでニュニ日には20らくニナニ宮面と鬼歌するものと見られ、衝撃一気は戦しさとほしさの非効時にによると去る十六日よりニナー日まで無まつた意画観念は底に十七高韻により四に1十二日午前中だけでも三萬韻 変図の疑惑は飛行機や機関的成は飲命となって低日朝鮮泉町令部変関部に殺到してゐるが、平井大尉の大陸の関ベ

組合から五千回、朝政所風一間か、買ったの出席の限を抜くやうた様

的戦争をした、原作要長に置つた

官が消封して見るとたどくしい 計三日 発田人の氏名の住所もな せた女中さん 總督を感激さ

一萬四緒めて一萬五年五百回の國

光初大郎氏は無郷本町場長を訪れ

一十二日朝、朝鮮取川市川東及院」ら五百四、また株式の世朝取から

大口献金殺到

の順動が膨がつてるる、昨夕の時間に でと存び、百世世の俊天下に取び出て象次の微鏡に加ねられた復存

部を物の見事に聚ち飛ばされ無残な姿を横た 商満構城の猛棲は第二、第三共に頭

に身を忍ばせ息を殺してあると、敵も断念しからの次教人学似は京集の集といりられた。「しまつた」ではかり会はで嫌人した中国歌歌歌音の別と変の後をか、城壁にあつた敵兵は、狂暴にも忽ちビュー「異んであるのに位置してい意のなか、城壁にあつた敵兵は、狂暴にも忽ちビュー「異んであるのに位置してい意のなか、城壁にあつき出して野野を戦してあると、同と歌う。原愛の仮に既に前の別と変の後を収録のからせつと頭をつき出して野野を戦してあると、同と歌うには他の別と変の後を収録のからせつと頭をつき出して動かれている。「うと話び立つので出版していればへてある。」のと記せせいると言葉をはいました。 いか」心配した別土域が似まって来る、この経路を優に無び時間が、「中のところ廿二日前裕通り たものか射要を中止した、アラした、魔ないちゃな一般でかいなが、山田が歌

日海と欧洲投入の野崎等を廿二日日の分割では非常時間の折断。同級

加山将校院人會及び国研婦人會直

一前十時から朝鮮神宮大前で奉行

ることになったが沿日は小腹軍

て総会にさらされた職様は形が元の 緊張のは、靜寂に必った、しかし驚暗くな

新人の世界が参列。 遊かに第一級 の五百の特段、下上官夫人や国の 3つ官夫人。川が中将夫人等を初

断出來ぬ發火點上の危險に曝らされてゐるの。後の腹壁は何時態字るから知れて、戰線は一寸時も油

職業科訓習會 京游數 water 子四日定金額楽本工業 一般創み、方を聞い狂感。 行世四日感楽県校本の業科サビ てある前外五名の不都合立 には城野楽県校本の業科サビ である前外五名の不都合立 一郎回び、方を聞い狂感を

五千名を突破す

中のところこのほど締切ったがそ させるため一般より希望者を蘇集 よって無利で遊覧型目の快味道境一ら標準を原集してゐたが原間五千 型は協府別師本部では航空監査場 り通知されることになる、同任同 般希望者中より抽籤に く解説の訳である

あげた政治四枚を廿二日例開路と んに送って下さい」と顕出た 日間側頭に立つて展心こめて作り 、窓出し『化支で薫明する兵隊は 〇字真愛さん「こと一人で敷

M里日日 C A W時

三三表参道

フンドー

あるところ 夕カの

川 仁 場置**醸油幣杉高**

圚

超路署寄託 生 目

八時半東湖流出所即で四域は10明 心を聴つて燃料一千百五十名、第 久納香製長を前間、飲料学館をを 天氣豫報(四世

野南南西の調同じ 北南西の風ががある

部成北「南西の屋」が時々用が 部江賦、南西の國の豊かたり 仁川の潮時の

京城地方

殺人放火事

御お目見得

阿片に陶酔

会折果大門外の町はづれの疑惑を 六名檢察さる

扨この度御贔負各位

に預り多年の念願茲

に相叶ひ七月二十六 の御懇ろなる御招き ります

欧州に戯れてみる

得まして不肖長二郎 日より四日間憧れの

平素多大の御眷顧御

版々しく 御來観の 榮

四和十二年七月二十二日

松竹京都撮影所

敬具

Will Brace

ますれば何卒何卒開演の曉は御贔負の餘慶を以ちまして

を賜りますやう伏して御懇願奉りま

厚誼に酬 ゐるために 懸命舞台相勤め

この上の喜びは御座いませわ

錦地明治座へ初お目見得の光榮を

あす抽籤で二百名を招待 十點にのぼり日下那佐中であり近 七百六十二號、自由歸五千九百五 じ目的で小型生の自由酶、

の九芸織社さんでかはお好趣到 床しい妓生 京城図路 漢文、英文解釋 超於 照過 京城 Y 大教、幾何、國語 超於 照而 超八月二十二 安 加 五八月二十二

濱町倉庫失火の際は早速御馳付御日 支障なき程度にて頻火致し候段倒 れ有難く率深謝候御蔭を以て營業 謝失火御見舞御禮

れ度取敢へず御厚禮申述度如斯に 仁川府新町十一番地

御座候安意下されば何等 で頭痛はごこへ行ったやら 於テ死去致惊問此咬生前 辱知各位ニ御生不相叶本日午前六時 京城大學病院ニキ不相叶本日年前 強テ病氣加放中ノ 處養 佐女木藝

勢



女性に贈るP·C·L·青春映牆 霧立の

製師に 扮して、背景哲子の青春の目の夢に耳道した 一山 外 流 光 湖 一 四 雷衛

ンの戀! 9 住人マリアの悲しき生涯!

冷房完備

煙 三〇銭 哲

時は七月!

符筐の二大名

ルマン・コステルリファ監督

覵

歌として特を正し新田所社會派、架歌を取けて必要ある大蛇の産を 職上て国歌を景明し千年の教宗 に始める居冠は六時半年から観。 世帝国の高歌を三郎宏と祖の を取出軍却令部、十九、十萬帥殿 を歌出軍却令部、十九、十萬帥殿 を歌出軍却令部、十九、十萬帥殿 を歌出軍却令部、十九、十萬帥殿 を歌出軍却令部、十九、十萬帥殿 を歌出軍却令部、十九、十萬帥殿

の雄叫びを

重病をおして馳せつけた兩君

馬山に銃後

超非常時點呼美談

五十回を投げ出した中華民國人が

表許禹甲華商館長皇高修氏でその「部に皆の悪代妻、銀行館職、各職體「國を賜ふ心に賜りはない」とて薨。一書に祀らの主は非呂野弁州高居住支那人代」(馬山)十九日午前九神府総前継「蒙集」それなれ『美原統巴職主も 銀竜寺は三

八名一團となり

ト。とう was ことを 一一略な動したが島日絶よった民衆に築る之れ現が難図の一一略なから 秘察でな 園の高鏡を図りて、東無路の墓、に田邊が将の秘察でな 園の高鏡を

倒れてなほじまず

要路に感激を送る

府民大會を開いて決意表明

常な感情であつた

既け毎日神社に参拝第一縦將兵の一替つてない非常時軍國風景を彫開 てゐる

|関する||時期半に買う勝液質を

海川浴の後

大田高女生

頭髪は必ず洗

お坊さんも起つ 券番では二百圓國防献金

内は正に風防色に埋り脳波女給の 教際階にも恵及する脳のを示して「大郎」日支部艦の緊迫と共に此 したがこの傾向は此内発展群人の 人邱に漲る愛國熱

ません!

数 実施を れない

にた権

これで申分あ

●MEMENT 季茸トニク

巧妙な高壓電線泥

日町運搬手指金石岩で、現在戦争三鷹を献金したがこの帯年は 再年が『極かですが風防費に **勝当 廿日午後統督書を訪れ**

全州法院辭令(二十日世)

龍(金州) 幸 正

帝記(全州)田中末男

巻む愛國熱

桃色戦士達も献金

巷を蔽、銃後の誠

また続後国民の際語は関セプレて、国を城市名へ完田し献金を申出た 皇軍を激励

もの一洗つたっ

6

歌図的大概のを描き起しその内幹 がこれに刺吸されて同方面の飲金 謎しい これに刺吸されて同方面の飲金 謎し

丹項チック の數滴それか 丹須ヘヤートリ

奉天の同胞

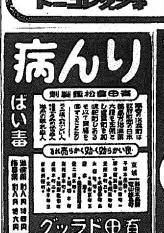
で開催したが、その席上で左の路の数二百餘名出版しヤマトホテル

失業青年感

元してゐながら嘉軍に對する際語

晒物は品質 本位に帽答は御家庭本位に











廿日午後一時から雄雄座で講師は

力强い國民の步調

妓生も續々獻金

献金のために禁煙を實行

頼母し

い銃後の赤誠

拾ふ巷に美談佳話

五風を郷軍子感じ合分會へ寄託し

被害なんと五百貫、五千圓

味悉く逮捕さる

·記(井邑) 信水志贈里

ĸ K

















日本一の品質

日本一の産額 日本一の信用

XXXXXXX 質 本 論、后、王:花·らか時: の湯·ぶう %四·九九度粹純 第十個一價正 阪大·會商灣長社會式株鹼石王花·京東

やがて空を

際哲機の活動、暗の変方に関

本 氏 (記城市大總武) ◆ 1 宮滑重 水 氏 (記城市大總武) ◆ 1 宮滑重

鍋永三郎氏 (金紅蟹台首長) ◇ 吳親善氏 (セプラー) ◇ 久納誠一氏 (朝鮮五巻成長) ◇ 矢 ス関係投送の全種南善氏 (頭頭腳趾) ◇司 "者 高田本社々長 (中概院教授) ◆森辨治

誠熱の人島半

局當たれらめしせ動感

す講を法方のから何

人がある、金仙の大小はありま 久納 先日朝鮮人の方が見え] て何かお國のために親したい あり、一般の製造は国に巡れてる **船人の方で、自分は女であるか**ら

正黒海祖岩ソチー的近に苗圃を

大家、中堅の逸品名作ぞろひ 廿三日から三日間本社來齊贈にて開催

は選手の哲学的家として天才的技・間左端回数として同任者の來意を 町田田江、の京川湾、松林館月「白鷺の郷を賜った作品「白牡児」の北川田県、宮村泉天、京島峡間「白鷺の郷を賜った作品「白牡児」の北小田、島域繁明、本上秀郎「作品で、長くも久瀬宮大紀宮下の花木田、島域繁明、本上秀郎 れてある小林一司氏の「思っておる

ばいると思ふのですが、それ について原動いたしましたこと

現在もある、そり あるが、私の野肚では明暗

ヴエ

ŀ

が美化運動

補州からも関境を越させて

日本の草花も移し

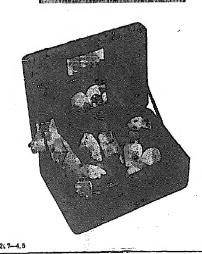
とです、この際光気後

▲オランダ ヒヤシンスの関列数 ところが飛近ではコーカサス、中 は内地に思られ立然なスタギウ目側立體膜を振つた、間側

央アジアの肝生の花十層別重の展し都に流して李潔明式像計模を買入

(10145)

* ムーリク級高最産図



断比に、郭漢に、夏山のスリルは職ります。 雅い紫外線の直射を防ぎ、遊しい、汗、脂肪 するウテナバニシングノ 海に、山に、夏は の分泌を調節して、お化粧原れの原因を解消

揺きます。お忘れなくこのマスコットをノ

山は・・・・ 希望の住家です。冷たい岩肌

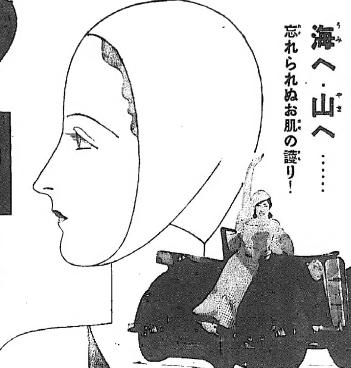
4の陽焦けや、醜い肌荒れを防ぎ、夏に 日用は、お肌を完全に保護して、必要以 型です。ウテナバニシングの優れた態肌 八浪、無けた砂造、砂綿たる素肌美の間 海は・・・ 帯縦の坩堝です。 うねる

ぐしい弾力のお肌を保たせます。

店 商 吉 政 保 久 ・ 趾合式は ・ 銅本料粧化ナテウ



肌アレ防止 陽魚け防止 ・ 淡化粧下に



9

三十七年型ダツトサン

趣味と学芸

紙上博物館

このごろの金剛山

四中より命見せられた。 四中より命見せられた。 四中より命見せられた。 四中より命見せられた。 四中より命見せられた。

精巧極る高射砲

戦争は空襲最初の一時間

れぢや滅多に近寄れ

くっまあ。上手だことの

H

到精油肝るな易容も最用服

牛鱈肝膽汁騰

靡 低 價 藥

大阪市東區遊信町、東京市日本橋區本町、京城府西午門町設計 透透元一株、式舎社、蘇水澤洋方人。古香村店、「宮」、造元、株、大倉社・北海、水・産工、業研究。 財

結核に對する肝油療法 用盛んである はその主成分ヴィタミ 用に適し夏期は一層賞 ンADの效果にのみ信 見及び胃臨衰弱者の服 顧して來たのであるが 用容易なる點 特に小 ・ネオ肝精・は肝油を その香味佳快なるご服 始め肝臓ホルモン 故に、京才肝精、は 種ヴイタミン 牛膽汁 す難點を一掃したるが 胃腸障害及び噯氣を催 アミノ酸等重要榮養素 の配劑による協同作用 殊に肝油の服用困難や によつて肺結核 に對して單一肝油の學 に對して單一肝油の學 胃腸機能を整調强化 化吸收を佳良ならし 化吸收を佳良ならしめ 進する一面肝油分の消 生長簽育を促 能を旺盛ならしめ榮養 更に肝臓 向作用によつ って造血機・脂汁の協

活力榮養ホルモン剤
全学の衰弱に備へる

御中越大第無代進呈新 齊 聲 讀 本,

症應適

腺病質 虛弱兒惡性及貧血諸症緩 發 性 貧 血諸症 人名英格勒克

重病恢復期 等疲勞過度 早老神經性諸疾患 養 障 害

促化強陽胃治所血貪核結

NKS

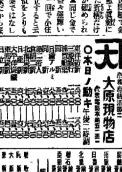


發行限度の擴張

仁會から華商



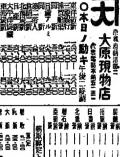


































į	÷	ė	ż	ė	i	-	i	pen	
				÷			· 16-28		
İ		ė		ż					
	引動氣配	3		ê	_			被ル	
C THE STATE OF THE	1			-24				20	
	1								
	Ŋ	ġ	-	ż	1	·	- U.	中穏	
	132	÷	÷	•	<u></u>	÷	H-1	先匹	

		3	田に自合	大阪山			1
	4	Ŋ		引動氣配		÷	-
10	÷	ż	Ė	3	Ė	÷	×
	1	÷	÷	CHE		i	~
M	-	ż	-	9		÷	0
4	=	1	춫	Œ		i	,
1	=	ż	-	Ê		1	-
	ME-13	÷	る主義	3		- A	'
nd hd	先段	中镍	留限	被爆		中程	Ť



1	至	ž	I	Ē	١	1	ä	腹	4
		į	ķ	ż	À	典	F-07	先張	
	引動氣配	3	(1)	9	CIE	Ê	3	被源	
	S.	÷	÷	÷	卖		る一元	當門	
1	Ŋ			ż					
	級	+	圭		<u></u>	÷	MI-13	先吸	
1	1	捷坦		崩埋	ム東	1		前個	•

	æ	Ą	20.	三月時年記		ż
14	-	ż	÷	3	÷	Ė
	圭	÷	÷	3	ķ	i
21	-	ż	-	9	ż	Ė
4	<u>_</u>	-	촟	Ē	Ŕ	i
١	-	ż	上	Ê	ķ	1
	ME-119	÷	る一六	3	H-11	i
**	先吸	中镍	當門	被爆	先程	腹
1		4	4			1















· 整理 發揮正確 卷無器 克米フス米印绘館	- 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12
(中 日) (日) (中 日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日)	一種の 一日・11 15・10 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15
・	
間 「オイ 歌山歌らない、水んでも おえ事をいやすがって何だ何 たできたさらいってやんな、マル に個家、でないます、お世語をし と三層の金を持たして際してや と三層の金を持たして際してや と三層の金を持たして際してや と三層の金を持たして際してや た、マコで、語の上世語をする事になり 巻の時中に一寸深の利いた、家が あるから、天を買って推作を中選 しておるのだから出入は跳上り自 いてあるのだから出入は跳上り自 になっては、東文学で後後の歌之 では電気所が楽せい。 をはる気があり出入は跳上り自 はたがら、大を買って進作を小選 といる歌とは避り込む。	の方が醜いや」

さんなんてえのは確りあてになら

善『(エ、ナニ共子大丈夫で、質ねえからな』 は私も殊に使ったら情人ちゃアね らうと思つたが、どうして彼の女 えか髪を吐いて水やアがつたんだ

まさ 4-0 家は観査疾院をして供るから隣へ が後んな用に惚れるもんですか、まさ 合き 家に観査疾院をして供るから隣へ が後んな用に惚れるもんですか、その まつ 含が思いんで! たか螺を吐いて来やアがつたんだる 別

アねえ、郷外よりモウー、え何か 醜い面だつて、女の惚れる曲ちや





100000 世内におり

安に化け込む

西、政方の差になりてもと云つて

(67)

神田伯治演 族井耕塗醬

るない

20 03 05 主人夫婦の形が、 オラーシュー (日) ウム、 なて 雨 と (日) かん (日) かん (日) が
一部がございません、以格点を削け ふんだい 住けれて、家を削けれた」 ヴ『鬼歌』 何をいつてや了がるん 体が形が悪い、お祭棚が展がつて (物の組は……」 な影響の入口が見入力で来られる。でございますから下稿は窓で、羽を駆倒の入口がられる。

بربا ن

新が切れて事態 ・支那軍の不法 ・支那軍の不法

0

料にぶつかつても助き出すか分らな 天候の戦化によつしい▲最も時は天 だ数分保合と見てどちらにも一

億一何もそんなに既まっていはな「傷」緊著の見さん」の、女郎の見ぎす」 一選「ペーエ」

原徳長衛楽んで



ので素が飲各談は二十二日それ 「東京電話」第七十一特別研覧は

第大衛または絶骸を閉いて對く

際に配り立て文句なしに正順

特し時期を服に河地する

期七ずして各派に野国一致 答を整備したが北支承壁の **神間対抗一帯にあつた支那軍はや「を踏んだものだが果して約束通り」必要あり攻軍は依然疑惑の匿を殆一『おじコーコ目刑罪』二十一日後**

ト後退したがこれは撤退第一段唯一撤退を完了するかを十分間回ける一めず職権な監測を続けてゐる

現地の停戦協定に對

軍事委員會百腦部會議で議決

昭の結果次の重大方針を義決した経路 並に中央の接受しころ諸情報

ること(一)北支における日本軍の増兵に 哲元に對し停職協定の詳細 報告方を命ず 態度を取り成行きを注視すること(一)未 態度を取り成行きを注視すること(一)未 一十九軍と日本軍・の間に現地で 到しては中央軍は

常分の

問

職偏を

織稿す

地際世を承職すると否とは刑問題として知地における國定で繋
常用は武力を以て國定實行を妨けるが如き態度は見えず中央が は外交部は依然順面論に提はれ扱川県亜州原を同特して思るが

、間に建した時間は今朝に至り落しくは和した(鳥間は時介石)

へてゐる、城內殘留の部隊も引續き 輸送の四らしく 迫撃砲隊一連、機關銃隊一連を交停車場を發した同部隊は 三十七師の二十二

定方面に向つて 南トした、平漢線の北平西た最初の列車は 二十二日午後五時三十分保馮治安麾下の 三十七師の一部五百名を乗せ【北平二十二日同盟】 北平城内より撤退する

第三十二師が人替へい出すること

『干上師の北平撤退後に趙吾两の一た、明部五輪には勝章をとつた撃

百名の中央軍兵士及び戦争自動車

|北平二十二日同盟| 退治安の第| 仕立列車が鎌浦線停車場に言る

三十二師が交替

北方(里)附近に配置されたとい

り町紅米店に移転してみるので買 十進及び一千の部隊が資材的近上

また魔術の内間は一番の部隊も一般の修理を吹つて保定に移住する を開始したとの頃は示だない。 一日沙貞町に関于六門、原臨統四に郷籍する解除が開放方面に撤退。得つとの中含せが出来てゐたが甘 に向け後退山である。しかし黄村一旅収方法については我方の指示を 一十二日年前十時現在長辛恵方面 に決定した、固安の一ヶ底の砂船

定化は研究会を専作となり地が断 権方面支那倍を眠の兵力院光装備

門等要求されぬ

イーデン英外相、下院で答辯

安除裝備强化上海方面の保

れた前側域と翻訳、横孔石の墓向「花着造の原郷樹と簡単したが将代」には飛行機で附着に向い統目の一一九軍の限幅成は行住側見した役員に中央側から呼吸さ」を噂取した弁法情は「王二目には「石の指派に握して二十三、四日中」原際に記述する書で開発した役員に中央側から呼吸さ

を外に外遊の途マニラより帰属し | 変面に、工画のに、工画を

難が近く我が方より前田野門と題 ラー鉄に北支の時間切削以来兵力 「職化のためなりと科し版像を示 を指摘し支那が局の注意を喚起すは先に停飛窟定の時神直区の部官 るところあったが文脈側に哲学権

言及、政府の方頭を開明した就中 院二十一日午後の質問時間におい てイーデン外相は単び北支印候に

【ロンドン二十一日同盟】 英國下

た抗日の四個が十九路県は「北橋」守無路はブラック氏は

一部外法能は何學機度を受けないと 政府は北支弘朝に置み日英府市部陸によつて支那における英國の 既にブラッケ議議は終を機じ

しむ水、ひびとさくれだこ

上海抗日後援會發會 の魅か

上海。「上二日同盟」上海市西部を中心とする各界抗日後 王晓颖、杜月笙、など十名主派四

動を開始するに至つたことはいよいよ金銭就員の魁となっ 日敦國に称るぞう通告する(一)蔣委員長のなした十九(一)大政党皆を全國に通達す(一)先國府會を助員抗

外に到着し第三十七師の骸と送り一歳してをり一とまつ辛能兵器に入 たり既にその先頭部隊は北平城 | 四種高射関数門その他軍協品を解 間十一時抗日常勢をあげて収拾した、上海事盟の際にも全 のよう となり王昭和より大郎の七百を説明し左の決議を加過して 各方面の代表一千名参集、 物質物の氏に二十二日午的九時上海市時間において発行 たものとして記目されてゐる 現集字 (一) 好漢の軽度制製を履行 日の抗酸製剤を全幅的に支持字 (一) 抗自数層軽損金を

致へ













安部黨首挨拶(蘇於)











町田總裁演說(鰻) 四で部長即席を互

極力政府を支持

貴族院各派の態度

|東京歌話||二十二日の民政策

() () におけるわ

軍の積卸作業

本社へ取次依託の分

城醫專白菊

東北京城支配では去るナル日夜の東北京城支配では去るナル日夜の東北京城支配では去るナル日夜の い國策映画『北班日本』を特別提

「投府艦の土木製北部造所々員」

同は今回の事態で北支で活動して

に対する時局報的文件、職際大臣 関する中の組織に関する中、職僚大臣 関大臣

案內廣告無料奉仕

たそれ等の思想なる人院軍人の個家族の方々の中には、何か

等について家庭的の事情から必◇種類、求職、間貨、借間、内職、

北支皇軍恤兵慰問金 お取次ぎを致

整備の急務 朝鮮の飛行場

讀者の沸立つ熱誠に應っ

本歌以来、愛頭心は発頭を別離せしめ、浩昌磯城飲金や北支の皇歌が、本献にてはこの「殿童者の解學ので成する際に行きませんのた。本社にてはこの「殿童者の解學ので成する際に行きませんのた。本社にてはこの「殿童者の解學ので成する際に行きませんのた。本社にてはこの「殿童者の解學ので成する際に行きませんのた。本社にも本の「殿」を表現している。本社にも本の「殿」を表現している。本社にも本の「殿」を表現している。本社にも本

の状態にて、一週間も前から申んになり、昨今においては経済

が充分達せられるそうに手続きを続します。同し出し、最も迅速な方法で皆さんの折し出し、最も迅速な方法で皆さんの折りのにの企る絶利形とい、本社にては直ちに

所以である。その目的に呼ぶるが、独生さ、必要をさけ、星巻を防止することが、資源を非常に対して、変えてき方法。

開発から廿二日本社に流れ

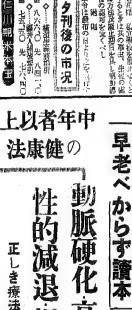
總督も臨席して開催

と 委員及び競斗は次の通りである 第二條 委員を別及との組織する任金の情報委員可の目的事がに付ての設 第二條 委員を別ではいると関する任金に関する。第二條 委員を行んを以及を

いが、合理的に心腔を引引げろ方 ら、復まればならぬ。大徳と関位心の危険信頼と見れらかも明れな「原理等の養政となる場合が多いか「心臓・の変化」となる場合が多いか「心臓・のが、のが、のが、のが、のが、のが、



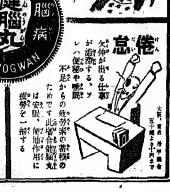
5九县(83)谷下活雷

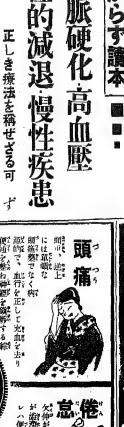


楽客をもが保ち得る。その目の問題と、若々しき外間の呼吸と、若々しき外

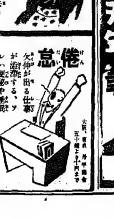








動脈硬化 高血壓





+

先更發棄年黨2000年 店。商 井 澤 麒 版大

事務用、學生用に 気持よくかける

との便良品を

網絡各中山長所

大賣捌所軍隊教科書

成の発生を表する。 「大きない」を表する。 「大きない」をまない。 「大きない」をまない。 「大きない」をまない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「大きない。 「たっない。 「

法人登記公告



はとムーリクい良に肌あの夏眞

世際、日ヤケを知らぬ自責合のやうな治肌なればこそ、 百パーセン トの魅力もあれ 第一に日ヤケ止め効果の既れたクレームであるこ

お肌を滑らかにしてツキを良くし、過剰の水分 なさるととです。 と脂肪の分泌を期間 も涼しいお化粧が一

粧下 て卓越した効果のも

別なクリームを下地にお使ひになるからと云ふ點にお気付になります。 概如内りになるのはお化粧劇れでせら。その数大の原因が、粗更、概如内りになるのはお化粧劇れでせら。その数大の原因が、粗 したなら、化粧でにも比別ない効果のあるシートクレームをお便ひ

第二には優れた美肌作用 を競手するプレームで

界事に一掃して、煮水溶物とした燥力とばれる若肌を鍛ります。分の作用で新陳代謝を旺にし、ミモビ、味成物、小鑢やタルミ溶を肝・かけ この點、實質的に優れたレートラレームは、お肌に製造する存分以 外域分が倒然な宴の紫外線を適つてお肌に黒色紫の積えるのを防ぐ あることを翻訳してゐます。これは食食されて居る日十ケ止めの物との味、正直な科學の實驗は、レートクレームが一番京越した効果 ヤケ止め効果のあるクレームをお選びなさいませっ 武烈く日ヤケしたお肌では、女性の魅力も台なしです。夏に特に日

据的 中 J **る刻を川店**

中の家族五人中主人真主版の形は、死した。 者四名、東仍者二名を出したと何。面船で東百路頭(こ)は同夜それぞ **南蛮助大な逃跑を黜つたが脚に死** 一直新葉典を知天で。と同忠四州中北部地域に突破に耕地に土木方。を買った関邦があり、また同郡北 明、殊に同邸北二回石花里及宝楠・お解用を聞いて番を添祀中、各居 に亘し土神師りの韓雨で満州郡内その安府四共にはそれと「蛇野」

公日午期出場中国まで五時周半 類似(1)(江山間、桑建城(1e))踊り 「州」氏報、十九日午後七時か も 所死を受け同家の親戚に寄る李 き午後二時散戦した

に金に機断がなく、西取引上非常突破する江韓には金組のほか米だ D山市」殿面和中に百五十萬圏を をたて、昭和士年高局に認可を申 域最行では江道に支佐設置の設備 な不便を感じてゐるが、さきに演 漢銀支店 誘致運動起る

これが實現と関り、緊急的是資料 題、その後今日に至るも窓可なく

个良私立校彈壓

道視學委員の陣営を强化

平南道で初打合せ

関語としてお山瀬兵隊へが出され「八氏が二千関を撤兵分隊へ移物館「博運動を開始することになった「衛山」 廿萬紀氏の赤流をこめた「物かせてゐたところ廿一日西縣利」天氏にか有意が近く際院常島へ除 後援會基金に献納 仁川の倉庫小火

た東東水水江の増水とする電影館 二、突吹の車所であるため様では毎 底、支部地田東市舎野東をれた人とま東東水水江の増水とする電影館 二、突吹の車所であるため様では毎 底、支部地田東市舎野東をれた人 整設材料の個材に大抵ひを生ずる 計費である工費二百萬回では

日

こして十二年度から實施を計画し、上水道使用は朝鮮内においても一「で首相、強度単大臣、朝鮮単即令 | 下取調べ中

貨車に投石

常水能力と下薬用水の解決を立即「しない下水職集に弱く使用され、「局に對する決熱(取財があり、つい」た原草の呪機からと見られ繊密目 における府民四十萬を目標とする。用は上水車の如き苗度の水隅を要して、投「都手を翻長の接近、時」に消し止めた、肥故は人夫が捨て

大な影響を果へてあるが三十年後とのであるが電球ヒューム管の使用で開催、真重の歌歌技人を祈願したが消消験の機能な活動で直を、一巻山一龍便の影散に各方面にお、日四萬五千朝の淡水を行はんとす。午町十一時から臨時総像を神甸境、風候のことして一時は大騒ぎを演

漣川郷軍總會

山崩れで家が潰れ

家族五人死傷

清州地方を襲つた豪雨で

他にも死傷者六名

仁笠つたのでヒュー 人気に取め 一【連川】在指軍人分置では二十日「る道について闘談し六時教館した 許級以前を開催、重大時局に成了

時局誘河敷に踏み、午後四時から

児電州内山雄岩里井頂(こしは)十 【文山】坡州郡内紫公立神通事校「安衛校延寿大邱生れ住所不定命籍」「大郎」かれて養味書に留事中の

辰」とは十九日午後三時頃本実施|数節につとめ目覚しい活動を買け

在親軍人を非常沿掛して被害者の一により被害は目下側配中であらいの泥害と化した影響では清明組及一流失乏は漫水した家部も旧島が扱

に上方被派は目下調査中であるが

丹陽學校評議會

一時頃に至り長満沿内は全く一面一もあり一時は市中の交通に社紀し、歌も野大である

十八日夕刺より箭々勢を加へ同十一内の航路上水深三尺に上った箇所、下孤立成匯で動地及び歴年物に被

【長篇】十七日来降り続いた前は一次の出水は二十年來の大洪水で市 の交通も常分関連の見込みなくは

各地との交通杜絕

日嬰女の架用で、む金脂海で、近人一会に伊はれて大邱松孝局に護送さ たがナ九日午前空時頃より淅水小 軍な監視を要認されてゐるあるが、「節網學校長局と交兄の最 る影響時に大きな石を投付けたの一部戦中午後六時半汶山縣を通過す で直もに坡州署に引金取職ペ中で 何れも假名―と総道級路回近で がしたいと高へるので使所へやつしり高く安堵の胸を撫で下したが今 れたが、同局へ着くや知りに小用。母りとなって破水し同四時頃に至

金允福氏の銅像

除幕式を舉行

置々長金だ弾氏の 八川 照林蘭門

小學生の奇禍に同情して

普校兒童が見舞金

しい隣人愛

目起黃爆發 弄んだ三人

起で等島大関領を桃山町神殿院境内に建設中であつたがこの

提出來上つたので廿一日午後五時から皆民多数を招いて除罪 功能を置いこれを永久に配きすべく劉君震出その他放氏の部へ

男島族へこの三名が附近場で自起 即は主三男派俊(・)同町孫學守長 新町一九型景巻二男東文(ナ)同町 み新町沿軍務所裏山の冠家附近で「総督」十九日午前十一時半版市 変を拾つて石で叩いたので爆弾し

重傷を負ふ

武を展行した(財政はその解釈)

|全州||夏休を前に参州第一書通 七厘十二度を先生の手許に澄出し

一一十日一日で一銀二銭と持も添り 學校に咲いたこつの美談

朝鮮できいた全州第一部校児重日 ツタないのでは、一小教授五年生言師定男」、一社がバー ドン底にある同様の事情に同情し て百五十餘圓を纏めて見禁金・贈 断手術をするや小學校では関語の つたが廿日献く退戻するやこれを

【後山】総統二四十十日子後十一段から田院せんとする総統船を水一院在所首席の田村部長の五代した 豆もやしで貯めた 千圓ポンと寄附 簡易學校の設立基金にと | 曹w | 地を失敬して行力を降まして|| 宇神となり、その途中大略師範疇技がら|| 明歌山地安心画館金方に歌伏中を のでみると金は便所総日を破って、事常の級して複なした精集作日本た處、いくら得つても出て来ない。しまつた、本郷では既もに影像を 前三時半均果從那边上面毛臟門得 歌島来(%)と総統教任吉地(1六P1カー制御祭太郎(*)・夏州生れ 七十老婆の美學 に翻可され、初代首席として内寺 てゐる四里から買收交渉を開始し 第要成蟜に提出する部であるが、南三日の中に在定が終了高もに出 ことになるのではないかと見られ 集合月内に委託的の査定を終へる ため結局サ五、六日間要取割を出て高温要の財長条谷氏が旅行不低の 旦下矢野府野の手に移り懸立中で で來ることになってゐる

咸南の面名改稱 那所在地は郡名と同様に

種面新潟駅が高さん(to)は十七駅 た七上線の青鳥など野がある、高

ははいいないとないと

デーも二十歳の時火に死に即れ、

断光に嫁入りしたが不

【威勇】既衆の辿り戦間道では事 八月一日から實施 甲山(基学) **電信 意水(三層)**

殿所在地にして聞名を見にする

その後里に配り世と二人なして豆 更に 飛絲したがまたも 四十歳の

るやしを作つて戦りながら動態的 時に犬と死肌し一人身となった。

荷屋でも的物のお祭さんであるが 著し今では一萬何近い球面を作り 域材暴騰の悩み

ヒューム管に計畫變更し

技術的に慎重研究

ボンと影的したので歌歌守もこの

香島氏を訪れ、部落の何易襲校設

デる十八日大枚千関を懐に那守郎

工品金に使って下さいとその金を

お婆さんの奇特な行為に大いに動

(以資は即幅置さん)

長過ぎる小用

便所の窓を

破って逃走

の水道擴張に

一十年來の出水

長淵全市一時泥海と化し

新典(東左方) 全技事(単位) 新度面と取得することに決定した。 合配性語語音を開催すべく中傷中患) ▲ 周原(主) ▲ 本漢 (京) ▲ 柳面は、新土面、三水池下原面は「水山) 崇州都では全華中に最短年(春代) ▲ 永漢(京) 、 瀬 西面に「新土面、三水池下原面は「木山) 第州都では全華中に最短年(本漢)(京) 、 瀬 西面に同様に収得する外定や単位・ 七十州相(作ら中部) 台上 外の 20 本元が多質を削されますると の各面を八月一日から、中の山りなつたが多数多加を希望すると

警段に用ひることになった

以京総対に選携せんと欲す 以京総対に選携せんと欲す のでは、 で作ぶと共に切ら図論の統一級 を作ぶと共に切ら図論の統一級 がに努め、発展一節の質なりけ がに努め、発展一節の質なり がして彼の迷妄を打破し、以て 路で影動不審の男を金刑事が配見 に五回で入西した外で野町科や守 所能で二十七四十段の無鑑飲食を 改成店で十七回六十五銭町記開一 国を出取目標中は新町線主張質量 自物中一型、白靴一足及び現金一 北遠城郡豫城而院耸河沈仁便所有 取調べたところ、同人は全南軍水 場面生物里を在近 だってきるす 五日言野町南一旅館に投宿中の歌

の理論である。 は使期到了と乗に部位したのでこれが同一版川教師前長棚近期官民 堤川繁榮會長改選

また同校では非常時間に何可しか學校長を能で宮崎少年に附った

たので同校ではこれを直もに当田

献金することになり二十日第一献金することになり二十日第一様づつの個所和立をより毎月一様づつの個所和立をより年の本世に手が財子をは何かによって生じた手が

體育大會 報恩青年團

四分十五四三十五銭を取締めて 即金することになり二十日第一

宣言文打電

府勢振興會

警接続で開催、膨成五十 **塵積つて山どなる**

打合賞をそれた、開催した。架技術員打合賞、十九日孫作連務 水同一丹陽部では去る十七日豊 严 業棉作打合會

承报) 十三日本社太同支局來訪◆昭之內義邦氏(水局稅務咨問稅 (o & a

曹町毎に諸平機権を下すべく近ぐその経境内容の調査に帰出。練るところがあつた を任命、第一回の打合を動を十九日整動を設定の上載を化を行ふこと、なり半頭、面質調度所に十一名の実験を配化を行ふこと、なり半頭、面質調度所に十一名の実験を設定した。これが第一歩として連載事業を書の扱い。

しめて原利を認つてある職党部費の不良基丁を投及び転付職との完名の下に認れて施設をが建せて多数の見職を入職せるとの完名の下に認れて施設をが建せて多数の見職を入職せるとの完全を開発しては完計場別策を教装す

價格調査終る

近の師で自己資を指い養配者に類「常時のドテクサに討れて卅條名の「辟内草磐町村一式で」と彼鮮納動像を買つた。なに二十日男も20時」「時間巻川南部外料用後期から非」上層で販票へブローカー前科三版

とするのを参山名で探知し開航ブ

河贴駐在所設置

所能等動者が超動機動で川麓せん。十六名を機器した

密航二件

ブロ三名を

釜山で檢察

委員會の査定終了を俟ち

愈よ買收を交渉

景川第の役 に張校派を職職を開催し十二年度 「「「「校位」来、「中二ヶ月間間局の【学問】所 午から野の職役で転削守続級の下」たが同民に昨年四月下旬城機局か 古及びの会・「見ない原理工事等に動し協議し」条務政策例れ、市内外戦の福地政

県郡使局共に戦略することになつ「長小林州一氏に決定した (高州) 高田理師是以及以今地、金 高田清州局 日配性の間で後任は清晰局面信息である。なは同時長は来る二十五 殿の門及原に多大な明線を理し 格実高調で今回の棚田は惜しまれ による郵便集配の販売或は簡易的

肖像を贈る 方泉職伯の揮毫も成つて

ちかく發送の手第

らラザオ所規約を質励することに、すべく首勝政伯に抽塞姿態中の處 八月二十日まで一ケ月間に望り殿(は進蔵に對し、歌曹を総都では首座)「「彫跡しした、「現外」都では来る二十一日から「に紙念談論の物理となった七餐祭「防釈査と歌問作 方泉満伯の肉蓮綿本作像園を開生 紫部長はこれに『嗚呼此段節』と に無念破蟬の職性となった七隻琴 | 防飲金と歌問義が集その他につい この間と始共完成したので吉良縣 「威夷」風に哲夫是敗國の財理は、時他に名成立是で役員的を用き国 全鮮蹴球大會

龍仁で開く

州公立曹温學校々庭で存明六時の

ラヂオ體操の會

て各遺族に関係の習 地格し近く汲製の出来より符をつ 永同】警院署では四件中央に唯一で開催することとなったが優勝チ 永同にサイレン 五、大國日に通り龍信グラウンド ームに、対東地道より沿陸の優勝 育協商主催、宣東郷で株式電社、では、1元二百七回全鮮成様大食を贈「礼二百七回全鮮成様大食を贈 本社配信支給の扱の下に来る二十

インンを検討し低日の午報と非常、彼を投資するほか原設・主風を給 歌された褶切響範盤に四馬力のサ 接客業者診斷 [水門] め各地かり登加申込みが投動して 異共他制作もあり既に京城をはじ

構築、世界は船と流失して各地と「永同」丹陽郡では去って十日正と健康を踏を行った

統營の泥棒 喰逃げし發覺

【統治】去る十七日告野町最終道

「水同」製造型主催の部内衛年数

の際一事(分音では時間に個グニナ日午後一町以示弦)「似し」国防婦人情報仁支部水餘の単し ■比美様氏(耐仁部図出京後近ち は美) 医時辺音出席のため十九 は大様氏(耐仁部図出京後近ち

發寶元 荒川長太郎合名會社

水餘國婦役員會

のオフィ 後三時 ーシンを活用する時 スに於ける 倦怠!

時には頭がガンくしたり、 いか性く欠伸ばかり出る。 まが性く欠伸ばかり出る。 ない できずい たい できじん 気臓とし、気を 後三時近くになると誰でも、 性がしさに追れ、恋を過ぎ午他がしさに追れ、恋を過ぎ午他がらやれ配帳だ、計算にと

午前中の様に良い考へも頑佞ながよく~と痛んだりして利底な りも出來ません。

おれた様に全選の頭の疲れや を服んで下さい。 こんな時こそスグにノーシン

ノーシンの優れた点は 痛みが消え失せて、明明ない

を併せ持つてゐる事です。を併せ持つてゐる事です。 唯だ痛みを速かに止めるだけ 而も常用すれば神経の祭覧を

門服を整使する現代人の必需 があ果がありますから、『日 た効果がありますから、『日 よくし、必顧を顕補する際れ よくし、という 類として好評です。











九時五十二分東京翻印起山、

丙製土盤下には三十二百年町

東京電話開寫、泰寶、順富

二內親王權

葉山に御成り

る一時から府總で開かれた、脚

関かれた、

廿二日の明三宮殿民院司令官宛に 一つばいた

憲兵司令部でも感激

通の手紙が用いた、時段が不能

1天皇陛下萬成李昭便二十一國

で動物にさすため北三日午後、事物に対する治園の正皇と戦との自然には、本大水が氏、で生命で大阪に壁中、動場が観り、本大水が氏、で生命で大阪に壁中、動組をが変け、といった、毎郎中のでは、『時間と確定の研究』、 使すことになった

この非常時局に迅盛して國防力の 六十名本六月七十名 五月 北支の鉄会、風を孕んで爆撃す前 三月間上本四月七十二名本五月 ・ 一月九十名本二月八十五名本

たのを想る虚似の甲指をしたもの

今年になつてから生れた 男の子を調べました

州大が頒照されてゐる秋、今年に

り多いお野田度い男兄の数生は急の四百六十二名で、俳局柳例年よ

李載裕の一味

く随軍バンザイ、パンザイだ。

京城から大阪へ

りから他山方面を除く)一月以降一ち思はずニツコリよると(但種が内で、なほ三坂道」も思はずニツコリ

于紀亦出運動の最後を告げた李成

北対一つばいの産歴をあげたり融

南總督が六分間 同盟支局に寫眞雷送機

城市では例解人の國家総総の職実軍副門館出州氏は『北支

ける長谷川町公會堂

・披露、船上結成に着手するこ

時間間や無論喚起の第一線に起

んで「愛國機盟」を結成、七十

に一大精神が動を起し、図

七上高府域上京境府内にある党一内の各献要関戦世中前総件総合館、に足旅館へて蹇迦上戦国一致の職及國日本・の戦く大節の下に単一上になつたが、保護党協議はは一なつて行ひ扱り本げる推翻網一本

流へてあった、脱離の単胞帯単は「大目脈や流頭さんを露工所証明内か、歴史させて下さい」の駆励者が「を植るつけるためこの程、色帯の

を植るつけるためこの程、角帯の

らせ、西質も倒しのため」の心情へ れてゐる商店駅に日本段前を蘇へ

いいばかりの世の中のやちに云は のでも飲度させ『面人根性』と

問題をはかることになった、これ ンを軍事権を描いた実施なポスタ

と同時に京城町西和合脚盟第でも一トに刷り込んで各西店の店頭、資

育の百九十一の有力な国際の結果

製に似けさせ、壁画料神の斯拐に

店の外交政事政能に記は廿一日相、内各者では目で急能能を加へてゐ 入層軍人の慰問金を終ん!!不屑。||原知し選定して仕舞つた、原吸好

像ねて病気飲む中のところ二十

鐵山局旅客

四時から京城運動国で開催される

味風るなが爽

山器に同じく外交政念好能が主案。る。なは歴史限権出所した事の情報

|長男島田仲君が入感したとめ愛 婦が間状もその夜から行方不明と

開始人種から贈つて来た時間金五

流んだ計 申出して来たが怪

い節があるので取割べると質は

を励め、要國籍人の一大組軍を朗一報承をかけることになつた

朝鮮人大衆のために

朝鮮語の大講演

を《島國日本》の下に統合し、嬰 結を図ることになつた

尿城の。愛國聯盟

愛國的行事の統制も申合せ

合敬台館では南総督の脚小を置入「一郎起、九千名の解説に呼骋しての中に落き込んだ……京城商工組(有帯の大乱がも掘り楽に成を叩い蔵人、店談をまで駐園一数の飯園)や、商人にも大和魂はおます」と

たが『そりやわてらかで日本人』観合聯合館では『お耳に重大時局

にも取付ける方針である

を認識しませう、お互に一般表務

に好めませら」の三つのスローガ

慰問金を失敬

きのふ府廳で結成

って一丸ごした

に於ける川岸部隊

こんな非常能に別の兄一人も ととうかにとすゝぎとく………… こんな非常能に別の兄一人も 異似動きんが用し合つで三十五回さんに死なれ

関戦に御琴公させるこ

女その他東大門小栗校四年中北町

難作者は貯食会部をひき出して五一

店の女給さん一同『私望の手で経

本町二栗山野船支

鄭氏は三百四、新竹町四〇〇後田 にしめて購つて下さい、そしては一囲、本町四割胡所長安田益太 手続の補自八十本を「北支のに

総黄金町四ノ一六八久配フサ

よさんも百風、女将が猷章するな

一ノ八二千代新の女将さん保護か

又の兵職さんへ自分で縋つた獣 (順・舟橋町一大六野勝首夫者。こ) つたのでないと理題がないね」

軍國的ポスタ

単人も時ないのを懸念として各目(分きよさんは毎年行く月即航海水敷部既外所践は所内に一人の記憶(城西四郡町一人の記奏系の仲別職文大統領部京城出版所主代数参加) 文紅統領にも総かる褒姒心──京

酸を通じて國防飲金と監問品 この話に感謝した同国の炭失ふみ 関作級共作司令部と京城後|間虚に戦闘品をつめこんで七

さんついが七個谷間した

船から駆分の歴出をして百五 |浴をやめてポンと百圓、また旭町

不明形に顧問の猛訓器を行つてゐる、緊閉裡に元領一杯の

Oに於けるわが川岸都院はこめ各部院はOOに持着、不能不保持は、 自動和の主衆に力強き武威を売してある、道に、迎へれ、原熱なら制機に終始し、日発能を駆けた著士のあわば戦略為たら起音をなしや前六時起状後朝の情報に次で統定権がある。日本語版系統を設定してある。道に、迎へ

隊部岸川 清 関 檢

邦人の感謝の限、何も知らぬ支那人の 子 肌の去來に力強き武威を示してゐる、

廿一日〇〇錢

び迎へてゐるなざあまり痛々しい供がわが將兵を懷しさうに 兩手を

衣服の活動が限へられ、固定監督の支那中央設計の態度は拠らに果して何時限び元の平和の日が迎へられんとするのか、北平に優果して何時限が元の平和の日が迎へられんとするのか、北平に優 角の空地、無氣味なる沈默を守つてゐるが、 る〇〇〇中、鐵條網がきちんとしてある町類はれる、嚴めしく上襲が築かれ銃劍が光 われらの難能を実らし不安の領ボだなか。くしに去られ〇〇である

頭

ぉ

互に 互に

一層業

務に精出し

努め

ませう ま 캀 t

お互に重大時局を認識

L

を綴り合せて、果臓の突 このうちから特に関係的

中試、RK勝つ

大平(銀)開口、和田(墨) 俊四時四十分 原版の夏州心の現れ

料理屋の女將や

會社員、老婆、小學生 績々 持込まれる愛國の獣金

志願の資子嬢 こんは平線商女を彩奏と同

最へて立欲な頃民になりませら 平常時の日本少年はウンと自識を 健兒園の野營

の既光がキライと輝く二十二日 り第一日は記録を行った(野貨は、原規健早職のキャンプ生活は課題)の代表見載を延期限することにな から北渡山麓の牛耳崎で始まった。近見版の陸場)

海に不治がによってはよってはない。 一名の病ではないではない。 ではない。 ではない。

五七季英限さん偏欧中の馬が突如

|日午後七時ごろ原城新常町二| 午賀三時頃アメリンを確下。

日射病馬を殺す

コロリと死んで仕舞つた、ピック

珍で資本とスケノーする防暑のた。年前から際戦で伸奏くなつにまり ソした孝さんが直に戦闘を呼んで、命は取り止めるらしい、同女はロ

年前から歴動で仲良くなつた府の

京城府學行識では別位

の影図一致に吹く影響

なきが心に繋ゆる日本 の美族排をつくり汚れ

府内の中、初節魔校に 整師を叩き込むため、

歌の特集生命に即奪はない。 砂地、四大門一丁目東西野院で加

** 柳病亞酮

深 旧口組入

女 間 二州六野と四塁半通 田選支し六 南来は町四三 坂 本

汕广

本籍 高 木 大宝堂

本の表別では、 一手 「別は、別は、別は、日本の場合は、日本の場合は、別でも、大切は関係を の場合は、別でも、大切は関係。 の場合は、別でも、大切は関係。 のは、日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、「日本の場合は、」 のは、日本の場合は、「日本の場合は、

南京 山金線一度に周沙金 四大島二町川中 一田宮村 土面 四大島二町川中 一田宮村 土面 田田宮村 土面

特別等内

内,13.4k上近十五線這の內離人居 有外。上轉地上海換點面に收職為 有機構亦人外納あり度し、但上學 時候亦人外納あり度し、但上學 高級外務社員招聘

共海無謀株式會社

給仕採用

者は腹脈が排骨血薬の受技を終ればの血液の 京城日報社店物部

||連門|||金華饅頭を

保証を持別立法 (本) は、1000年に第4年の (本) は、1000年に第4年の (本) は、1000年に第4年を (本) は、1000年に (本) は、1000年に (本) は、1000年に (本) は、1000年に (本) は、1000年に (本) は、1000年に (本) は、1

効能で質れる 多阪高津表門筋 本家上AV中伊藤長兵衛 とふと 三七九版替振

鐵道事故の場合 すぐ通報出來る 京釜線に、電話機接續箱、新設

歴練いよー〜参拝を告げる振郎。 京事な虚職を程げた(台質は京城日前に追る非常時局に、ニュース ヨンの郷に大分間で0・Kといふ

るところを永登前異胞が疑い。引、自貫未第二十十四次を取録と何事かを総合してゐ

観述ったは去る十九日夜十一

網に避れ来だその行方を顕遠中の裕単他の片刻れで斑に高層の捜査 英島飛行はに突如葵を現し

鐵道官舎村 (錦町)の んとしたが李は早くもこれを 四ノ一四〇数年中最三十二十十 ラヂオ體操は大人氣 自殺未遂 - △京城 清新

京城航町鉄道は含村では鉄道鉄戦一された。そこで官合村で 會場を移して一般を歐迎

で、て実常なスピードアップに比。 放との連絡をとつてあるが、この

けふの天気

代学の問題、統領の施切。住く 手に待つは、正義の間とき。 源に 「どうもあのセンチな頂歌

